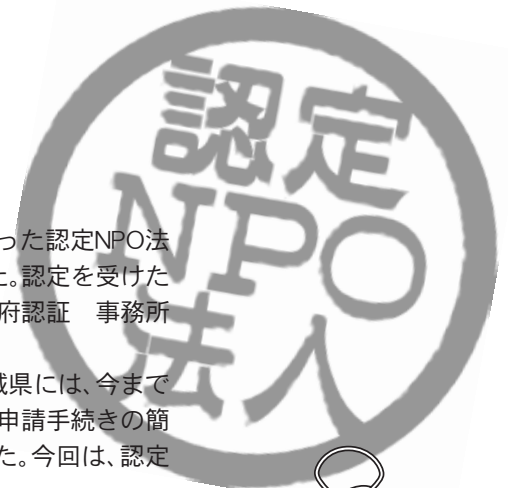


One to One

NPOが活動しやすい環境を整える 「認定NPO法人」制度



NPOへの寄附を促進し、活動しやすい環境を整えようと、平成13年10月から始まった認定NPO法人制度。開始から9年目の今年6月、宮城県にも初めての認定NPO法人が誕生しました。認定を受けたのは、「みやぎ発達障害サポートネット」(宮城県認証)、「ハートフル福祉募金」(内閣府認証 事務所所在地:宮城県)の2団体です。

平成22年6月16日現在の全国の認定NPO法人の数は149法人になりましたが、宮城県には、今まで認定NPO法人はありませんでした。しかし、ここ数年の税制改正による要件緩和や、申請手続きの簡素化で、申請の負担が軽減し、認定NPO法人は、だいぶ身近なものになってきました。今回は、認定NPO法人制度を紹介します。

認定NPO法人とは？

「認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)制度」は、NPO活動を支援するため、税制上の措置として設けられた制度です。一定の要件を満たし、国税庁長官からの認定を受けたNPO法人は、認定NPO法人となり、税制上の優遇措置を受けることができます。

税制上の措置

個人の寄附者に対しては、所得税の計算において寄附金控除の対象となり、法人の寄附者へは、法人税の計算において一般寄附金の損金算入限度額に加え、別枠の損金算入限度額が設けられるなどの措置が取られています。これにより認定NPO法人は寄附が集めやすくなります。

また、認定NPO法人は「みなし寄附金制度」を活用することができます。通常、NPO法人が収益事業を行い、収益を得た場合には、企業同様、税金がかかりますが、認定NPO法人の場合は、その利益にかかる税金が一定の条件のもと、寄附金とみなされる課税対象にならないという優遇措置が採られています。

認定NPO法人は、一般的なNPO法人に比べ、事業によって得た利益を、より多く活動に充てるできるようになります。

4月から認定手続きが簡素化

今年4月からは、『認定手続きの簡素化等に向けた取組』として、標準処理期間(6ヶ月以内)の設定や、「事前相談窓口」の拡充が行われています。これまでの「事前相談窓口」は、仙台国税局他全国の11の国税局だけでしたが、各都道府県庁所在地税務署においても「面接相談」が受けられるようになりました。(事前相談は予約制になっておりますので、国税局の事前相談窓口までお申込下さい)

認定NPO法人が増えることで、NPOへの寄附を促進し、日本に「寄附文化」が根付くことも制度の目指すところです。しかし、「認定」を受けるためには、内部管理がしっかり行われていることも求められます。より進んだ情報公開や、より適切な業務運営を行う「認定NPO法人」が広く知られるようになることで、一般社会からの信用が大いに高まることも期待されます。

『認定を受けるための要件』

- ✓ パブリック・サポート・テスト(PST)が一定の基準以上
※PST=事業費全体の寄附金の割合を算出することで、そのNPO法人がどれだけ寄附を受けているか(どれだけ広く一般から支持されているか)を判定する指標のこと
- ✓ 事業活動において、共益的な活動(会員等に対するサービス提供や会員相互の親睦会等の活動)の占める割合が、50%未満
- ✓ 運営組織(役員親族、特定の法人の役員・使用人等の割合が3分の1以下)および経理(公認会計士等の監査を受け、帳簿を保存)が適切であること
- ✓ 事業活動の内容(宗教、政治活動等を行っていない。特定の人に特別の利益を与えない等)が適正であること

※その他、適正な情報公開、法令違反や不正行為がないこと等が求められます。

詳しく知りたい方は…

■内閣府

パンフレット「認定NPO法人制度のしくみ」
<http://www.npo-homepage.go.jp/support/nintei.html>

■国税庁

認定NPO法人の申請が適当か否かを事前にチェックできる「申請に当たっての事前チェックシート」を公開しています
<http://www.nta.go.jp/tetsuzuki/denshi-sonota/npo/npo.htm>

■事前相談窓口

仙台国税局 課税第二部法人課税課審査企画係
〒980-8430 仙台市青葉区本町3-3-1 電話:022-263-1111(代表)

平成22年4月、石巻市役所が石巻駅前(旧さくら野百貨店)に移転しました。この新庁舎は、デパートを改修した全国でも例のない珍しいもので、エスカレーターはそのままに、映画館だった部分は議事堂に改装されるなど、百貨店時代にあった設備を"もったいない精神"で活用しています。

石巻駅前という便利な場所に、市民や市民活動団体が利用できるスペースも新しく設けられました。これらスペースは5Fと6Fに設置され、市役所の開庁時間だけでなく夜間や土・日曜日、祝日も使用できます。



▲市民サロン入口

新しくなった

石巻市役所で市民活動

■有料で申請をしてから使用する貸しスペース

5Fの市民活動ルーム(A・B・C)と、6Fの市民ホール、市民ギャラリーは有料です。石巻市に拠点、支部がある公益団体が利用可能となり、市民活動推進課に登録申請を行うことで、利用料が減免されます。(下表参照)

名称	定員	利用料
5F 市民活動ルームA	24人	1時間300円 ※登録団体は無料
5F 市民活動ルームB	30人	
5F 市民活動ルームC	30人	
6F 市民ホール	イスのみ200人 テーブル102人	1時間1,200円 ※登録団体は600円
6F 市民ギャラリー	イスのみ250人	

利用時間:9:00~21:00 問合せ先:管財課 ※上記利用団体・参加者は駐車料金が無料

石巻市役所 〒986-8501 宮城県石巻市穀町14番1号
TEL:0225-95-1111 (代表)
内線:管財課(4086・4087) 市民活動推進課(4236・4238)
HP:<http://www.city.ishinomaki.lg.jp/>

■無料でいつでも利用できるスペース

5Fには無料で利用できるサロンが設置されました

○「市民サロン」

市民誰もが気軽に利用できるスペースです
【利用時間】8:30~21:00 (インターネット環境有)

○「子育てサロン」

子育てサークルなどが交流できるスペースです
【利用時間】9:00~21:00 (授乳室、玩具や絵本など有)

○「市民交流ルーム」

石巻市に拠点のある公益活動団体などが、情報収集や意見交換の場として使用できます
【利用時間】9:00~21:00 (ホワイトボードなど有)

石巻市企画部市民活動推進課からは「石巻市公益活動の活性化、市民活動の集いと交流の場として、ぜひ皆様に使っていただきたいと思います。」というコメントが。新しくなった石巻市役所で、市民活動の輪を広げてみませんか？

(レポート:NPO法人いしのまきNPOセンター/石巻市NPO支援オフィス 佐藤光敏)

NPOと企業の協働事業を応援します!

~パートナーシップ大賞~

Collaboration

愛知県名古屋で「NPOと企業のパートナーシップ推進」を掲げて活動するNPO法人パートナーシップ・サポートセンターは、2002年に「パートナーシップ大賞」を創設し、今回で7回目を迎えます。

この大賞は、NPOと企業の優れたパートナーシップ事例を選出し表彰することで、営利と非営利という本来相容れないと考えられていたNPOと企業の協働が可能であることを示し、その具体例によって「協働」の意味や価値、重要性を社会にアピールし、両者の協働を推進することを目的としています。

今回から全国の大学とNPO支援センターとの協力で、より広くNPOと企業の協働事業を収集し、調査をしていきます。

これまでの受賞団体の中には、仙台のNPO法人自閉症ピアリンクセンター「ここねっと」と家庭教師アップルで知られる株式会社セレクトィーが2007年のパートナーシップ賞に輝いています。

受賞事業は、「発達障害のある生徒の特性を理解し、生徒の

「よさ」と教師自身の「よさ」を活かした効果的な支援ができる教師を養成する。それは人材育成にとどまらず、NPOと企業がもてるすべての「よさ」を出し合い、特別支援教育のネットワークを真剣に構築しようとする取り組みである。」という講評を得ています。

今年も募集が始まりました。記念楯と副賞30万円の「パートナーシップ大賞グランプリ」1事業、記念楯と副賞10万円の「パートナーシップ賞」5事業です。応募には、応募の時点で継続中か事業終了後2年以内の事業、NPOと企業双方の了解が得られていることなどの条件がありますので、詳細は、下記に問い合わせるかURLをご覧ください。〆切は7月末日です。

NPO法人 パートナーシップ・サポートセンター パートナーシップ大賞募集係

〒464-0067 名古屋千種区池下1-11-21 ファースト池下ビル4F
TEL:052-762-0401 FAX:052-762-0407
E-mail:info@psc.or.jp URL:<http://www.psc.or.jp>



NPOのIT化に強力な味方が ～IT支援NPOネットワーク宮城～

この数年で大きく発展し、より身近になってきたIT(情報技術)。しかし、まだまだ多くのNPOが使いこなせていないのが現状です。これに対して、市民のIT利用を支援するNPOが個々に活動を展開してきました。しかし、団体によってパソコン指導の質や手法が多様なことから、学習を基に質を高め、NPOの人材育成とIT化支援の仕組みを作ろうと、昨年8月、「ICT^{*}支援NPOネットワーク宮城(以下、ネットワーク)」が発足しました。

この事業は、NPO法人杜の伝言板ゆるる(以下、ゆるる)が宮城県に提案し、ふるさと雇用促進事業として採択され、ゆるるが宮城県から委託されて実施しています。

4月からは毎月、ネットワークに参加している団体のメン



▼ICT学習会の様子

バーを対象に、ICTの学習会を開いています。この学習会では、「教える側＝パソコン指導者」が「マニュアル的な指導法」ではなく、「コミュニケーションを重視した指導法

を学びます。それはパソコンを学ぶ際、利用者一人ひとりが自分の中に落とし込めて、そして着実に自分のものにできるようにするには、コミュニケーションをとって楽しく学ぶ指導が欠かせないという観点からです。

現在、ネットワークに参加している団体は仙台市を中心に県内10団体。中には、NPO法人ばざーる太白社会事業センター(略称ビートスイッチ)やみやぎITサポートセンターのように、定期的のみやぎNPOプラザでパソコン講習を開催している団体や、みやぎNPOプラザの事務ブースに事務所を構え、高齢者向けのパソコン講座の開催や、講師派遣など市民のIT化へ幅広く活動を展開しているNPO法人仙台シニ

アネットクラブもあります。

ネットワークは、県民のICT普及にとどまらず、NPOのIT化促進をも目指しています。昨年10月からの学習会に参加して、3月までにマイクロソフト社認定の「ICTマスター」を取得したのは12名。このICTマスターたちが、今年度からは「教える側」となってICTの普及・指導にあたっています。ネットワークに所属しているICTマスター資格所有者が対応するパソコン指導を始め、IT化を目指すNPOからの相談に対応するほか、NPOに指導者派遣などを進めていく予定です。

また、今年度は、ICTマスターが所属するNPO間で「ICTスクールみやぎ」をスタートさせ、ICT普及にあたるほか、ネットワークに参加する団体を増やすことを目指し、活動を展開します。これにより、ネットワークが県全域に拡大することが期待されます。

※ICT=情報(Information)や通信(Communication)に関する技術(Technology)の略称。ITを使ったコミュニケーションを指す

ネットワーク参加団体(10団体)

- NPO法人イー・エルダー東北支部(青葉区)・エルネット仙台(青葉区)・NPO法人シニアのための市民ネットワーク仙台(青葉区)・NPO法人仙台シニアネットクラブ(宮城野区)・NPO法人ばざーる太白社会事業センター(宮城野区)・みやぎITサポートセンター(青葉区)・フレッシュパル会(栗原市)・NPO法人パソコン・ネット・みやぎ(登米市)・NPOスマートシニアいしのまき(石巻市)・NPO法人パソコンマネット(石巻市)

事務局:NPO法人杜の伝言板ゆるる



専門相談に「NPOのための経営相談」登場

みやぎNPOプラザでは、NPOが抱える悩みにお答えする「NPOのための専門相談」を開催しています。各分野の専門家から個別にアドバイスを受けられるとあって、年間100件以上(昨年度利用件数)のご利用をいただく人気メニューとなっています。

その専門相談に、6月から「経営相談」が加わりました。

NPOはミッションを達成するため、又はその資金を得るために、さまざまな収益・非収益事業を行います。しかしNPOの中には、メンバーの中に企業経験者がおらず、ビジネス経験が不足している団体など、事業運営を不得手とするNPOも多いのではないのでしょうか？

「経営相談」は、数々の企業の創業・経営相談に携わってきた経営コンサルタント波多野卓司さんを相談員に迎え、NPOに不足しがちな客観的・ビジネス的見地から改善のアドバイス

をし、NPOの事業運営を後押しします。この機会に外からの視点を取り入れてみませんか？

相談員

波多野 卓司さん
(経営コンサルティング波多野事務所代表)



県内外のさまざまな創業・経営支援に関わり、全国で数多くの成功事例を生み出している。ガッツあふれる精力的な指導で打ち合わせが深夜に及ぶことも。カウンセラー・プロコーチとしての顔も持つ。また、起業家の相互支援・相互検討のコミュニティー「一番商品づくり塾」を主宰。中小企業診断協会 宮城県支部理事。全国の中小企業大学校でも講師を務める。

(相談対応日は次ページをご覧ください)

NPOイベント講座

8/26(木) NPO夜学 あなたにもできる”市民活動”

「学校や仕事だけの人生なんて、物足りない！習い事や趣味以上に何かできることは？」「社会に貢献したいけど、このアイディアはNPO？ビジネス？」「そもそも、最近ちまたでよく耳にする”NPO”について知りたい！」というあなたへ贈る夜間開催のNPO基礎講座です。

- 日 時：8月26日(木) 19:00~21:00
- 講 師：大久保 朝江さん(特活)社の伝言板ゆるる代表理事)
- ゲスト：福元智美さん(特活)パソコン要約筆記文字の都仙台理事長) 他
- 対 象：NPO・市民活動・ボランティア活動に関心のある方(定員20名)
- 資料代：500円

NPO活動を始めたい

9/11(土) 50歳からのNPO実践塾 第6期生募集!

ミドル&シニア対象に毎回好評の50歳からのNPO実践塾第6期がスタートします。NPOの基礎知識を学び、自分にはできない『社会貢献』をみつけましょう!

- 日 程：9/11、9/25(NPO訪問バスツアー)、10/2、10/16、10/17~11/19(希望のNPOで一日体験)、11/20
- 時 間：14:00~16:00(バスツアー、一日体験は異なります)
- 対 象：おおよそ50歳以上のミドル&シニア(定員10名)
- 資料代：4500円(テキスト代込み)+300円(保険代)バスツアー不参加の場合3000円+300円(保険代)

NPOのための専門相談

■会計・税務相談 → 7/23(金)、8/27(金)

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

◎相談対応：税理士 平野由紀子さん

■経営相談 → 8/24(火)

事業経営でお困りの時は、外からの視点を取り入れてみませんか? 熱血指導で大人気の経営コンサルタントが、マンツーマンでアドバイスします。

◎相談対応：経営コンサルティング波多野事務所代表 波多野卓司さん

■法人設立・団体運営相談 → 毎週水曜日

NPO法人の設立に関わることや、NPOの運営について、お気軽にご相談ください。

◎相談対応：みやぎNPOプラザ館長 大久保朝江さん

【共通事項】

- 時間：13:00~17:00(相談時間：1団体1時間程度)
 - 定員：各3団体
- ※事前予約が必要です。(申込締切：開催日の6日前)

みやぎNPOプラザ TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533 E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp

- 申込：講座・専門相談は要予約。所属団体・参加者氏名・連絡先・電話・FAX番号・質問事項をご記入のうえ、FAX・メール・電話にてお申込み下さい。
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ) ●企画・実施：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

みやぎNPOプラザ 事務室使用団体募集!!

みやぎNPOプラザでは、NPOや市民活動団体の皆さんに、活動拠点になる事務室をお貸しします。皆さんの熱い想いを実現するため、プラザの事務室を活用してみませんか?定期的に募集するものではありませんので、この機会をお見逃しなく!見学も随時お受けします。

- 募集施設および募集団体数 事務室(中・約9㎡)1団体
- 使用料 月額9,000円
- 使用開始および使用期間 平成22年10月1日(金)~最長3年
※9月1日(水)からの使用可

- 8月17日(火) 募集(申込)締切
- 8月24日(火) 公開ヒアリング・選考
- 8月25日(水) 選考結果連絡
- 10月1日(金)~使用開始



詳しくはみやぎNPOプラザまで!

■新規のNPO法人認証団体

宮城県のNPO法人数 **546 団体** (平成22年6月9日現在)
※解散、所轄庁変更、認証取消、認証撤回した団体を除く

団体名	所在地	活動内容	認証日
笑顔のお手伝い	仙台市青葉区	墓地清掃等の受託、訪日外国人等への支援	5/11
ハッピーート大崎	大崎市	地域住民に対する健康増進と栄養状態の維持・改善に関する事業	5/11
みんなの教室	大崎市	軽度障がいがある子どもに対して個人別指導・教育等	6/1
栗原文化事業協会	栗原市	栗原市若柳総合文化センターを中心とした芸術文化振興及び住民参加事業の実施	6/2

One to One

発行日：2010年 7月 1日
発行：宮城県民間非営利活動プラザ(みやぎNPOプラザ)
編集：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
編集スタッフ：荘司紗敏 清野利之

〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榴ヶ岡5
TEL：022-256-0505 FAX：022-256-0533
e-mail：npo@miyagi-npo.gr.jp
URL：http://www.miyagi-npo.gr.jp

2010
JULY
vol.56

「One to One」は、県内各地でのさまざまなNPO活動により、ひととひとが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるようお願いを込めたニュースレターです。